

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

済生会広島病院

(2) 事業所の所在地

広島県安芸郡坂町北新地2丁目3-10

(3) 業種

医療業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成29年度を基準年度とし、基準年度から平成33年度(令和3年度)の5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実績排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))					
			平成29年度	平成33年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
エネルギー 起源CO ₂	3,542	3,400 -4.0	3,542	3,573	-0.9	100.0	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂	0	0 0.0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン	0	0 0.0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素	0	0 0.0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス	0	0 0.0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	3,542	3,400 -4.0	3,542	3,573	-0.9	100.0	100.0	100.0
温室効果ガス みなし排出量								
実績に対する 自己評価	コージェネレーションの廃熱利用設備を整備することによるエネルギー使用量削減を計画していたが、コージェネレーション設備の本体老朽化により、実現できなかった。平成30年7月豪雨災害に係る院内避難所を7月～8月の間開設し、開設中は24時間冷房運転を行なったこと、同災害影響による通勤困難者のために院内に宿泊場所を確保したこと等でエネルギー使用が増加した。							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

原単位分母月平均：24.61千m² 原単位分母年合計：295.3千m²
施設内原単位【稼働月実績合計÷稼働月の原単位分母合計の平均値】：

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

エネルギー使用量÷面積

施設内原単位

295.3 千m²

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a)	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))					
			平成29年度	平成33年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
エネルギー 起源CO ₂	11.99	11.51 -4.0	11.99	12.10	-0.9	100.0	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂	0	0 0.0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン	0	0 0.0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素	0	0 0.0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス	0	0 0.0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計	0	0 0.0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費原 単位 (原油換算 kl)	11.995	11.515 -4.0	11.99	12.10	-0.9	100.0	100.0	100.0
実績に対する 自己評価								

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	照明設備蛍光灯をLEDに更新	平成30年度実績 31.38k1	蛍光灯のうち平成30年54本完了。残り1743本を令和元年度以降に交換予定。
2			
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。